

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	理論と実験の協奏による柔らかな分子系の機能の科学
領域代表者	田原 太平（独立行政法人理化学研究所・田原分子分光研究室・主任研究員）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、生体分子系に象徴されるような、それ自身のもつ大きい内部自由度を利用して高い機能を発現している複雑系を分子科学的に解明し、新しい機能を創成することで新たな学術研究の潮流を作りだすことを目標としている。その目的のために、物理化学を基盤とする研究者を中心に、理論・計測・創成という異なる角度からの研究を融合する点は新学術領域としてふさわしい。当該分野における理論計算や計測法の進展を踏まえれば、この時期に本研究領域を立ち上げて研究の推進を図ることは時宜を得ている。</p> <p>実績のある個々の研究者の計画研究は良く練られており、さらに研究項目及び計画研究間での有機的連携、公募研究における若手研究者の積極的登用などの具体策が検討されており、高く評価できる。また、領域代表者は過去に特定領域研究の計画研究代表者の経験や国内外における学会の運営経験があり、機能的なマネジメントが期待できる。</p> <p>一方で、「柔らかな分子」という言葉の定義の幅が広いと、各計画研究において統一されていない印象を受ける。また、研究項目 A01 の計画研究代表者の分野の偏りや A03 の計画研究の対象とする分子群が広範である点については、公募研究で補うことが望ましい。</p>